

道徳学習指導案

指導者 川本 美紀子

- 1 日 時 平成 24 年 11 月 1 日 (木)
- 2 学 年 第 1 学年 1 組 19 名 [1 年 1 組教室]
- 3 主 題 名 わがままな行い [1 - (1) 節度ある生活態度]
- 4 資 料 名 「かぼちゃの つる」(出典「みんななかよく」東京書籍)

5 主題設定の理由

- 基本的な生活習慣の中でも、わがままをしないで生活するにはかなりの自制心が必要である。自分さえよければよいという自己中心的な生活態度では、集団の中で気持ちよく生活することができず、他人にも迷惑をかけてしまうことになる。そうならないためには、周りの人のことを考えて生活することと、自分の心に節制を持ち、節度ある生活をするのが大切であることを自覚できるようにしたい。

この段階においては、わがままをしないで規則正しい生活をするのが自分にとって大切なことであり、そのような生活が気持ちのよいことに気付かせ、基本的な生活習慣を確実に身に付けることができるようにする必要がある。

- 本学級の児童は、明るく積極的で、何に対しても意欲的に活動しようとするができる。友だちも増え、相手のことを考えて行動することができるようになってきている。しかし、まだ自己中心的でわがままな行動をとることも多い。他人の忠告を素直に聞き入れずに自分の意見を主張し続け、友だちとけんかになってしまうこともある。学校では、ある程度わがままを自制することができても、家庭では、甘えのせい、泣いたり、はぶてたりして、いくら言い聞かせてもらっても自分の欲求を抑えることができず、しかられてしまうこともある。

- 本資料は、わがままなかぼちゃが他人の忠告を聞かず、また、他人の迷惑も考えずに勝手につるを伸ばしていくが、トラックにつるを切られて泣いてしまうという内容である。

指導に当たっては、かぼちゃの心情を共感的にとらえながら学習を進める。まず、基本発問では、つるをぐんぐん伸ばしているときのかぼちゃの気持ちを問う。かぼちゃの気持ちを考えることを通して、自由勝手気ままな考えに気付かせたい。また、みんなの注意や忠告を受け入れずにわがままを言っているかぼちゃの気持ちを考える際には、役割演技を行い、よりかぼちゃの気持ちに共感させていきたい。そして、中心発問では、トラックのタイヤにつるを切られてしまったかぼちゃの気持ちを問う。その際には、ワークシートに記入させる。書くことで、一人一人に自分の考えを持たせ、話し合い活動につなげる。書く前に、トラックに切られてしまったときのかぼちゃの様子を動作化させ、よりかぼちゃの気持ちに共感させやすくする。話し合うときには、自分の行動で自分が痛い思いをしたということだけでなく、どのように行動しておけばよかったのかが考えられるよう、問い返ししながらねらいとする価値に迫る。さらに、終末では、教師が子供時代に、わがままをしてしまっ失敗してしまった話を語るだけでなく、保護者の方にも自分の体験を話してもらうことで、わがままをせず、生活していこうとする意欲を持たせていきたい。

6 準備物

挿絵 お面 ワークシート

7 ねらい

かぼちゃが、トラックにふまれてつるを切られてしまったときの気持ちを考えることを通して、周りの人のことを考え、わがままをしないで生活しようとする道徳的態度を養う。

8 本時のポイント

注意されながらも好き勝手につるをのぼしていく場面や、トラックにつるを切られてしまった場面で、役割演技を行う。

9 指導過程

段階	学 習 活 動	主な発問と児童の心の動き	指導上の留意点
導入	1 かぼちゃについて知っていることを話し合う。	○かぼちゃはどんなふうに大きくなるのかな。 ・つるがどんどんのびる。 ・スイカやメロンと同じように伸びる。	○ 資料に入る前に、かぼちゃの育ち方について確かめる。
展開前段	2 資料「かぼちゃのつる」を読んで、話し合う。	○つるをぐんぐんのぼしているとき、かぼちゃはどんな気持ちでしょう。 ・つるがのびて気持ちいい。 ・もつともつと伸ばしてやるぞ。 ・ぐんぐん伸びてうれしいな。 ・おいしいかぼちゃをつくるぞ。 ○みつばちやちょうに注意された時、かぼちゃはどんな気持ちだったでしょう。 ・どこにのびようが僕の勝手だよ。 ・いちいちうるさいなあ。 ・少しくらいいいじゃないか。 ・せっかく楽しいのにじゃまをするな。 ・またいで通ればいいじゃないか。 ◎トラックのタイヤにつるを切られてしまったかぼちゃはどんな気持ちだったでしょうか。 ・痛いよ。ひどいことするなあ。 ・つるを伸ばさなければよかった。 ・みんなの注意を聞いておけばよかった。 ・これからは、自分勝手にせず、がまんしよう。	○ 話の展開を理解しやすいように、場面絵やペープサートを用いて話を読み聞かせる。 ○ 役割演技を行い、かぼちゃの気持ちに寄りそわせる。 ○ トラックにつるを切られたときのかぼちゃの様子を役割演技し、後悔する気持ちに共感させる。

展開後段	3 自分の生活を振り返る。	<p>○わがままをして、失敗してしまったことはありますか。また、わがままをしないでよかったと思ったことはありますか。</p> <p>・買ってほしいおもちゃがあったときに、駄々をこねて泣いてしまったけれど、かっこ悪いと思ってやめたら、お母さんがほめてくれた。</p>	○ 自分の経験を振り返り、ワークシートに書かせる。
終末	4 教師や保護者の説話を聞く。		○ 教師だけでなく、保護者からも話を聞くことで、意欲につなげる。